

(別添 3)

【北中城村】

校務DX計画

1. 北中城村の現状

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」34項目において、本村で実現されていない代表的なものは下記のとおり。

- 1) 授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを使用していない。
- 2) 学校から教職に紙で提出を求めている書類がある。
- 3) 日常業務にFAXを使用している。

2. 課題と対策

課題として、教職員間でデータ共有が出来ておらず業務の効率化が図られていない、職員に求める提出資料が紙である場合が多い、いまだにFAXでの連絡があることが課題である。また、一部に押印・署名によって確認をする慣習や書類が依然として残っていること、教育データをアクセス権限によって管理する慣習が無いことも課題としてあげられる。

これらの課題を解決するために、以下の2つの解決策に取り組む。

- 1) 各学校長のリーダーシップの下、教職員の協働性を活かしてクラウドサービスの活用を推進する。
- 2) 教職員等が提出する書類についてクラウドツールを活用しペーパーレス化、デジタル化を推進する。

3. その他

上記の解決策に加えて、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況に留意しつつ、校務システムの更改のタイミングにおいてスムーズに次世代の校務システムへと移行できるよう、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施する。